S クリート CA+

珪酸塩・リチウム系表面含侵材用のコンクリートのカルシウム補充として
鉄筋防錆付与剤として

経年劣化や厳しい環境下においてエフロ（白華）やアルカリ骨材反応 (ASR) が発生したコンクリート中のカルシウム含有量が欠乏気味です。

S クリート CA+ を塗布した後に珪酸塩表面含侵材の **S クリートアップ**および **S クリートアップ Li** を塗布することによって珪酸カルシウム水和物（C-S-H）層が再形成され、コンクリート構造物を再度緻密化し、中性化したコンクリートのアルカリ性改善に寄与します。

また、**S クリート CA+** には亜硝酸塩が含有されているため、コンクリート内部の鉄筋に対し防錆効果を付与することができます。

上記の写真はアルカリ骨材反応（ASR）が発生し、中性化したために内部の鉄筋が錆びが生じている現象です。このような場合には **S クリート CA+ と S クリートアップ Li** の併用を推奨します。

エフロ（白華）現象が発生しているコンクリートはひび割れも伴います。このような状況下においては **S クリート CA+ と S クリートアップ Li** を併用することを推奨します。

S クリート CA+ および S クリートアップ Li の施工手順

①温度を確認(5℃以上 45℃以下)してください。

②大きなクラック (0.3mm 以上) やジャンカ等の補修を行ってください。貫通クラックは必ず事前に十分な補修を行ってください。貫通クラックの補修については、 S クリート CA+ を塗布および充填した後に「S クリートクラック工法」を用いて施工してください。

③アルカリ洗浄剤を使用し、高圧洗浄機及びブラシ等で施工面のカビや藻などの汚れを落としてください。
※酸性の洗剤を使用した場合は、必ずアルカリ性洗浄剤等を用いて適切な中和処理を行ってください。

④ローラー、刷毛、噴霧器などを用いて S クリートアップ CA+ を均一に塗布します。飽和状態となるまでしっかりと塗布してください。2 回目の塗布は、1 回目の塗布完了後、塗布面が乾燥してから行ってください。

塗布量目安：250 ～ 300 ｍｌ/㎡

⑤翌日から「S クリートアップ Li」の施工が可能となります。ローラー、刷毛、噴霧器などを用いて S クリートアップ Li を均一に塗布します。飽和状態となるまでしっかりと塗布してください。2 回目の塗布は、1 回目の塗布完了後、塗布面が乾燥してから行ってください。

S クリート CA+ 荷姿：4ℓ、18ℓ (比重 : 1.1～1.15)

BIRCS 株式会社バークス環境
〒152-0004 東京都目黒区鷹番3-14-13 パステルハイム302
TEL: 03-5794-3933　FAX: 03-5794-3934
email: bircs@bircs-kankyo.com　WEB: bircs-kankyo.com